

北川湿原の散策



家田湿原の散策

北川湿原(家田・川坂湿原)は、九州において、最も規模の大きい湿原のひとつです。魅力は、なんといっても東九州自動車道北川インターチェンジから車で5分というアクセスの良さと、普段着で散策できる手軽さ。観光地としてはもちろん、市民の憩いとレクリエーション、小中学生の環境学習、大学の研究など、多くの方々が訪れています。

春

里山のカシやシイなど、照葉樹林が萌え始めると、湿原の草木もいっせいに芽吹き、春の装いへ衣替え。家田川や川坂川では、コウホネが葉っぱを水上に伸ばし始め、羽化したトンボ達が、飛び交います。五月晴れの湿原散策は、見どころいっぱいです。



川坂湿原 新緑の頃



家田湿原 やまはな橋付近

希少植物の宝庫



家田湿原

夏になると湿原のコウホネが競い合うように水上に花を突き出し、8月から9月に見頃を迎えます。そのまわりではハグロトンボをはじめ、多くのトンボが縄張り争いを繰り広げます。家田川・川坂川では、ドジョウ、メダカ、オイカワ、コイ、フナ、ナマズなど、たくさんの魚類が見られます。

夏



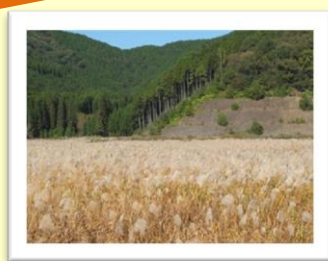
川坂湿原



山の内谷川

秋

北川湿原の秋は、とても華やかです。サテクサ、ナガバノウナギツカミ、サクラタテが咲きほこる湿原は、ピンクの絨毯を敷き詰めたようです。赤とんぼが、飛び交うのもこの時期。花が終わり、実を結んだ草木を觀賞するのも秋ならではの楽しみ。北川湿原の奥深さを堪能できる季節です。



オギ群落



ナガバノウナギツカミ群落



家田湿原